

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ミクロ経済学	配当学年	1
講義名（コード）	ミクロ経済学（DB）	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス	時間数	30
対象コース	デジタルビジネスコース	講義期間	春学期
専攻		履修区分	必修
授業担当者	島田昭仁	授業形態	講義
成績評価教員	島田昭仁	実務者教員	実務者
実務者教員特記欄	国・県・市町村で25年間実務を経験した教員が政策を講義する。		

2. 本授業科目の概要

目的（位置づけ）	近代ミクロ経済学の基礎となるケインズの数理経済学を学びそのモデルを理解できるようになる。
到達目標	環境税の基礎となるピグー税について理解できるようになること。
全体の内容と概要	前半は、消費者と生産者の基本理解から、ピグー税のモデルについて学ぶ。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画			
回	日程	講師	授業内容
1	4月18日	島田昭仁	ミクロ経済学の素養を学ぶ ①映画シーンを通して ～土地は誰のものか
2	4月25日	島田昭仁	ミクロ経済学の素養を学ぶ ②映画ターシャチューダーを通して ～外部不経済とは何か
3	5月9日	島田昭仁	ミクロ経済学の素養を学ぶ ③消費者、生産者、価格とは何か
4	5月16日	島田昭仁	数理経済学の基礎 ①需要曲線と供給曲線
5	5月23日	島田昭仁	数理経済学の基礎 ②限界需要曲線と限界供給曲線
6	5月30日	島田昭仁	数理経済学の基礎 ③損益分岐点
7	6月6日	島田昭仁	中間とりまとめ
8	6月13日	島田昭仁	数理経済学の基礎 ④社会的効用と外部不経済
9	6月20日	島田昭仁	数理経済学の基礎 ⑤ピグー税とは何か
10	6月27日	島田昭仁	実習 ①損益分岐点の計算
11	7月4日	島田昭仁	実習 ②環境税の計算
12	7月11日	島田昭仁	考察 ①エネルギー価格の実際
13	7月25日	島田昭仁	考察 ②カーボンフットプリントの実際
14	8月1日	島田昭仁	期末試験
15	8月8日	島田昭仁	課題実施日

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	教科書は使いません。毎回、スライドで説明します。
参考文献・資料等	
備考	国・県・市町村で25年間実務を経験した教員が政策を講義する。